

「Version2」を2010年秋にリリース予定 大幅に機能強化!

NEWS!

- ◎IT資産管理
 - ・ハードウェア周辺機器の資産管理
 - ・USBデバイスの個体識別管理
 - ・ソフトウェアライセンス管理 …etc
- ◎セキュリティ管理
 - ・操作ログの取得などをはじめ多数の機能を追加!

「Version1」のユーザーは無償で「Version2」へバージョンアップできます!



「Version1」のユーザーは無償で「Version2」へバージョンアップできます!

バージョン2が無償で手に入るなら、今すぐ入れるのがトクだぞ!

1台ずつインストールする必要はなく、管理者のパソコンから配信できるので手間いらずだ。

この製品の特長は、管理画面が見やすく操作性が高いこと。この画面の中で「危険なコンピュータ」がレポートされていれば、その項目をクリックして、どのコンピュータがどんな状態なのかを知り、例えばウイルス対策ソフトの定義ファイル更新が止まっているパソコンを発見したり、自席からリモート操作で、OSのパッチが自動的に更新されるように設定することも可能だ。

「何から手をつけるべきか…」と悩むことなく、画面を見ていれ

ば次にすべきことが明確になるのである。

また、上層部への報告資料作成や環境対策としてのコンピュータの省電力設定状況の確認など、用途に応じたレポートも画面から簡単に呼び出せる。このように、必要な対策を「ナビゲーション」してくれるのが、「JP1/Desktop Navigation」の魅力である。

2009年秋に新登場し、使いやすいリリースナブルな費用設定で注目されている「JP1/Desktop Navigation」

秋口に登場するVer.2へ無償バージョンアップ

社内運用を楽にする②

「すべきこと」をナビゲートするツールの活用を

パソコンの台数が一定数を超えたら、情報漏えいやウイルスなどの被害で顧客に迷惑をかけるまいやう、1台ごとの状況を把握する仕組みを持ちたい。個人のセキュリティ対策を怠っている社員がいれば働きかけも必要だ。



しかし、必要の都度買い足してきたパソコン。どんな機器が何台あって、ソフトは何がどのくらい利用されているのかを把握するだけでも一苦労。運用管理といつても、ITの資産状況がわからなければ動きようがない。

自席にいながらパソコンの情報を収集

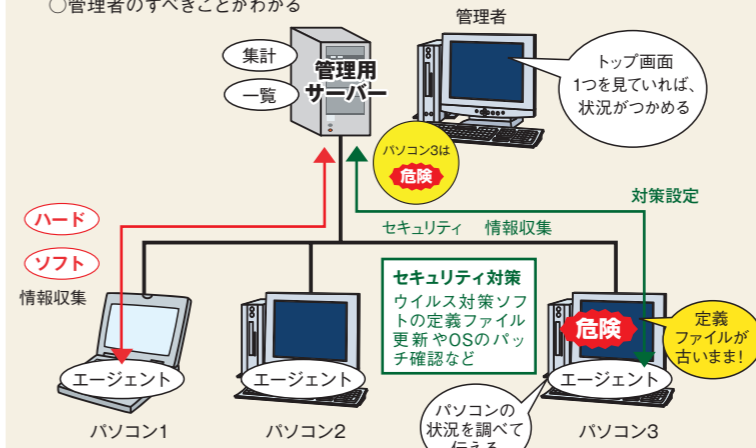
ITの資産管理や運用管理は必要とわかっていても「手がかる」と二の足を踏んでいる会社もあることだろう。

しかし、日立製作所のPC運用管理ツール「JP1/Desktop Navigation」なら、こうした悩みを解決できる。中小規模企業の運用管理を想定して開発された本製品は、ネットワークにつながっているパソコン

JP1/Desktop Navigationは運用管理のナビゲータ!

管理者の負担を軽減し、セキュリティ対策の漏れを防ぐ

- 会社のパソコン、どうなっている?(IT資産管理機能)
- みんなセキュリティ対策やっている?(セキュリティ対策状況の把握)
- 管理者のすべきことがわかる



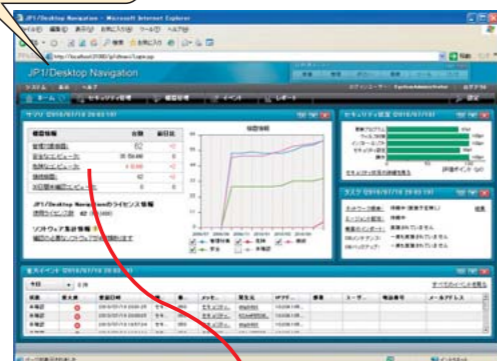
製品価格(ソフトウェア)
基本ライセンス 42万円(税込)*
サポートサービス 12万6,000円(税込・年間)
*クライアント PC 50台まで管理可能

1台ごとのハードウェア情報やソフトウェアの内容、セキュリティ対策状況などを、管理者のパソコンから一覧できる。1台ずつ調べ

て回らずとも、「エージェント」と呼ばれるソフトから自動的に情報を収集できるのだ。エージェントのソフト自体も

JP1/Desktop Navigationを使うとこうなる

1日1回ここを見ればOK!
[メインの画面]



危険が見つかったらそこをクリック! 詳細が表示される



「Version1」を利用中でサポートサービスを契約していると無償で「Version2」にバージョンアップできるとのこと。

今の時期に導入すれば、現バージョンで運用管理に慣れ、新バージョンでさらに範囲を広げること、無理のないステップが踏めるだろう。

お問い合わせ先

株式会社日立製作所
ソフトウェア事業部

0120-55-0504

<http://www.hitachi.co.jp/dtnavi/>

情報セキュリティ

セキュリティ運用管理システム

「すべきこと」をナビゲート!

JP1 Ready Series
あなたの会社が強くなる